これまでのNGOをKOBEの防災活動一覧へ＞

パプアニューギニア地震津波・緊急救援委員会

1998.7.17(NGO北西部調査)、帰国(津波のみ)
防災専門家：1998.7.31～9/9(7日)
PNG側カウンターパートであるPNG救急協議会(PNGCGS)がアンボンに対する緊急救援プログラムを実施。
・第1段階(2/22～3/22)：緊急支援物資(毛布・食料・医薬品)の提供(約2週間)。
・第2段階(3/23～5/22)：(小学校建設)に向けて(長期開発)再建支援の準備(2週間)。草地代表者(3名)現地支援。
・第3段階(5/23～6/22)：地元職員(PNGCGS)を派遣のうえ、(小学校建設)に着手。この工事の完成まで(平均期間が最大2日)に出戻り～9月の予定)。そのため、～9月末に草地代がその後の被災地の状況と今後の予定の確認をあわせて視察を行う。
・第4段階(6/23～10/22)：現地(PNGCGS)派遣者のうえ、村での第1期工事(1～2週間)。草地代表者(1名)現地支援。
・第5段階(10/23～)：学校建設が終了し、開校式に参加するため訪問。PNG支援者のうえ、草地代表者(1名)現地支援。
[PNG支援者]：[PNG]：[PNG]：[PNG